

ビデオ上映 ▶ 18:40~19:00

# 記録映画『学徒出陣』

文部省編・日本映画社、1943年

1943年10月21日、明治神宮外苑競技場=現国立競技場で開催された「出陣学徒壮行会」の報道映画「日本ニュース第177号、学徒出陣」(同年10月27日公開、約6分)のラッシュフィルムを編集したもの。当時全国の学校や公民館などで上映された。



講演 ▶ 19:00~20:30

## 講演「学徒兵 木村久夫の遺したもの」

加古陽治(かこ・ようじ)氏 東京新聞編集委員



【講師紹介】1962年愛知県生まれ。東京外国語大学卒業後、中日新聞社(東京新聞)入社。司法・教育・ニュースデスク、文化部長、編集局次長などを歴任。現在、編集局編集委員。2002年度新聞協会賞の連載「テロと家族」取材メンバー=米国取材担当、第60回(2012年)菊池寛賞の「東京新聞原発事故取材班」総括デスク、2015年度平和・協同ジャーナリスト基金賞大賞の「平和の俳句」担当責任者。編著書に『真実の「わだつみ」:学徒兵木村久夫の二通の遺書』(東京新聞、2014年)、著書に『一首のものがたり—短歌が生まれるとき—』(東京新聞、2016年)。共著書に、東京新聞原発事故取材班著「レベル7:福島原発事故、隠された真実」(幻冬舎、2012年)、東京新聞編集局編「原発報道:東京新聞はこう伝えた」(東京新聞、2012年)など。歌詠みでもあり、第54回(2008年)角川短歌賞次席受賞。

◆アジア・太平洋戦争の最終局面で、「学徒出陣」と称され学生たちが修学半ばにして、1943年12月1日より陸・海軍に入営・入隊した歴史を思い起こし、不再戦・平和の誓いを新たにする「不戦の集い」は、一学徒兵の呼びかけにより1953年12月1日に開催されてから、その後1960年より毎年この日を刻して続けられて来ました。「学徒出陣」80周年を前にして、いま、ウクライナの戦況報道と重なり、国の安全保障を名目とする自衛隊の軍事行動や軍備強化についての議論が喧しくなり、また、政権与党による憲法改正の動きも加速しています。今年の「不戦の集い」は、戦没学生遺稿集『きけ わだつみのこえ』(第1集)の終章として収められた木村久夫の遺稿に注目し、自ら戦争責任を負い、アジア・太平洋戦争の「日本国民の遠い責任」を訴えた故人を偲ぶ講演を委嘱しました。戦争に動員され人生行路を絶たれた青年たち、また広範な戦争犠牲者たちを想起して、この歴史的現在を生きる私たちの課題をご一緒に考えましょう。知友お誘い合せてご参加ください。

会場・文京シビックセンター26階ホール(参加費七〇〇円)

12・1 不戦の集い ● 2022年 ● 映画と講演  
「学徒出陣」80周年を前にして

主催: 認定NPO法人  
**わだつみのこえ記念館**  
〒113-0033 東京都文京区本郷5-29-13  
赤門アビタシオン1階

URL: [www.wadatsuminokoe.com](http://www.wadatsuminokoe.com)  
Tel/Fax: 03-3815-8571  
Email: [info@wadatsuminokoe.org](mailto:info@wadatsuminokoe.org)  
郵便振替口座: 00180-3-612451

●開館日と時間(駐車場はありません)  
月・水・金曜日(祝祭日休)  
午後1時00分~4時00分

◆ZOOMによるオンライン開催あり。  
(参加費:500円)  
メールにてお申込みください。  
折り返しご案内いたします。



『きけ わだつみのこえ』第一集・第二集(岩波文庫)



アクセス●文京シビックセンター  
東京メトロ丸ノ内線・南北線「後楽園駅」直結/都営地下鉄三田線・大江戸線「春日駅」直結/JR中央・総武線「水道橋駅」より徒歩10分